



児玉直俊(こたま・なおし) / 京都近衛リハビリテーション病院院長、医療法人社団行陵会副理事長。順天堂大学医学部卒業後、初期臨床研修、京都市内の回復期リハビリ病棟勤務、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室を経て、2018年京都近衛リハビリテーション病院開院と共に院長補佐に就任。2022年10月同病院院長に就任、現在に至る。

向かいには京都大学医学部附属病院というロケーションに立つ京都近衛リハビリテーション病院。病床数は100床。京都市左京区吉田近衛町26 ☎075-762-5000



京都大原記念病院、介護老人保健施設博寿苑、特別養護老人ホーム大原ホームが廊下でつながる施設群。医療、介護、福祉が一体となったグループの象徴的存在。

京都大原記念病院グループ
https://kyotoohara.or.jp

入院(回復期リハビリテーション病棟)

- 京都大原記念病院(一般棟あり)
- 京都近衛リハビリテーション病院

通院

- 御所南リハビリテーションクリニック

訪問リハビリテーション

- 京都大原記念病院
- 御所南リハビリテーションクリニック
- 大原在宅診療所

訪問診療

- 大原在宅診療所

訪問看護

- 訪問看護ステーション たかの
- 訪問看護ステーション 宝ヶ池
- 訪問看護ステーション 平野

訪問介護

- ケア・サポート 上高野事業所

高齢者住宅施設

- 介護付き有料老人ホーム ライフピア八瀬大原I番館
- ケアハウスやまびこ
- グループホーム やすらぎの家

通所介護(デイサービス)

- 大原ホーム老人デイサービスセンター
- 上高野デイサービスセンター
- こうやまデイサービスセンター
- 平野デイサービスセンター
- 朱雀老人デイサービスセンター

通所リハビリテーション(デイケア)

- おおはら雅の郷通所リハビリテーション
- 博寿苑通所リハビリテーション

高齢者介護施設

- 特別養護老人ホーム 大原ホーム
- 介護老人保健施設 博寿苑
- 介護老人保健施設 おおはら雅の郷

居宅介護支援(ケアマネジャー)

- 居宅介護支援事務所 博寿苑
- 上高野デイサービスセンター
- こうやまデイサービスセンター
- 平野デイサービスセンター

地域包括支援センター

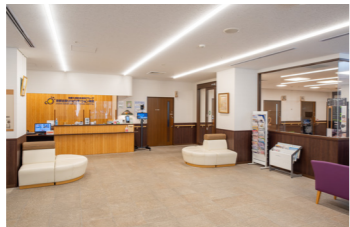
- 高齢サポート大原(京都市大原地域包括支援センター)



本館のリハビリセンター。奥にはADL(日常生活動作)訓練ゾーンもあり、退院後の生活に向けた実践的な訓練が実施される。



上/フロアごとのテーマカラーがあしらわれた四床部屋。ほかに個室と特別室があり、コンシェルジュが配置される。下/ロビーはホテルのようなゆったりとした雰囲気。



「京都五山送り火」の右大文字を臨む屋上の訓練スペース「近衛天空回廊」。飛び石、丸太石、玉砂利や起伏のあるスロープが設けられている。



「近衛坂」と呼ばれている傾斜のついた渡り廊下。車いすの練習などのリハビリ訓練にも利用されている。



毎日最大3時間、

「ね」と、これからの展望を語ってくれた。

接遇やホスピタリティという言葉を知ると、治療も優しく穏やかなものに思えてくる。ところが「うちのリハビリは、かなりきついって言われるんですよ」と児玉院長。「ひと昔前は、脳卒中になったら家に帰ることができれば万々歳だったかもしれない。でも今は違います。現役世代の方も多いですから退院後にちゃんと復職して元の生活に戻ることが大事です。高齢の方であっても、犬の散歩をしたり孫の送り迎えをしたりと、自分らしい役割に戻れるかが重要で、そのためには毎日最大3時間、

「だからこそ人が大切なんです」と児玉院長。そのため接遇やホスピタリティの研修など、人材教育には多くの時間を費やしているという。また、2021年からは入院生活をサポートするスタッフとして、「コンシェルジュ」を配置。患者が些細なことでも気軽に相談できる体制を整えている。

「リハビリの効果が大きいのは発症後およそ3か月から半年だといわれている。この時期に集中的にリハビリをすることがその後の生活に大きく影響するのだ。」

「ですからリハビリ病院って、のんびり治療するわけではなくて、今こそ!という感じなんです。スポーツ選手がトレーニングをするような、そんなイメージなんです。」

リハビリの重要性が一般に認知されていくに従い、病院も増え、患者がリハビリ病院を選べるようになってきた。そうした時代を踏まえ、児玉院長は「規模を拡大していくよりも、今ある施設の質の向上を第一に考えていきたいですね」と、これからの展望を語ってくれた。

* * *

京都市左京区を中心としたエリアの医療・介護を担う京都大原記念病院グループ。京都大原記念病院、京都近衛リハビリテーション病院、御所南リハビリテーションクリニックの3つの医療施設のほか、高齢者住宅施設や高齢者介護施設、訪問診療所や訪問看護ステーション、デイサービスやデイケアなどさまざまな医療・介護サービスを展開している。

グループの特徴のひとつが、早い時期から高齢社会を見据え、脳卒中などの患者の社会復帰をサポートするリハビリテーション(リハビリ)に着目してきたことだ。

1981年、大原初の医療機関として「大原記念病院(現・京都大原記念病院)」を開業すると1984年には理学療法士を採用。2000年には京都府内で初となる回復期リハビリテーション病棟を設置する。

近年では2018年に、リハビリ専門病院として「京都近衛リハビリテーション病院」を開業。社会復帰を目指す労働世代へのリハビリテーション

「思い切った大風呂敷を広げたのですが、決して非現実的な目標ではないと思っています。リハビリの技術や設備はもろろんのこと、患者の方々の接遇も含めた、トータル満足度で日本一を目指しています。」

回復期リハビリテーション病棟の対象疾患は脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎など。患者は急性期病院での手術・治療を終えたとはいえ、後遺症や退院後の生活に大きな不安を抱えている。